

平成30年11月9日

関係各位

一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会
会長 村木 昭一郎
(公印省略)

外国人観光客の受入環境整備（ストレスフリー）に関する ワーキンググループへの参画について（ご案内）

晩秋の候、貴職におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、平素から、当協会へのDMO事業にご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、さる6月20日に開催しました「長崎マーケティング・ラボ」等でもご報告した通り、平成29年の観光客数は、過去最高となる707万7,700人を記録しましたが、その内訳をみると、宿泊客数はほぼ横ばいで、日帰り観光客は増えているもののクルーズ客を除くと逆に減少している状況です。唯一伸びているクルーズ客も、バスツアーで市外の免税店に行くケースが多く、なかなか市内にお金を落とさないという課題が見受けられます。その背景には、モバイル決済や商品情報・メニューの多言語化など外国人観光客がストレスなく買い物をしていただけるような「ストレスフリー」の環境が整っていないという現状もあります。

つきましては、外国人観光客の受入環境整備に関するワーキンググループを立ち上げ、外部アドバイザーの助言等をいただきながら、課題の解決を図っていきたいと考えております。是非、ご賛同いただき、ワーキンググループの一員としてご参画いただきますようお願い申し上げます。

また、第1回のワーキンググループを、下記の通り開催致しますので、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

【第1回外国人観光客の受入環境整備（ストレスフリー）に関するワーキンググループ】

日時：平成30年11月28日（水）14:00～16:00

会場：長崎タクシー会館 4階 大会議室（長崎市出島町12-20）

内容：長崎観光の現状、訪日外国人旅行者の受入環境水準調査報告、ストレスフリーの取り組み等について

<問い合わせ先>

一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会
マーケティング企画戦略部（担当：的野）

電話：823-7423

ファックス：824-9128

E-mail: nitca_matono@silver.ocn.ne.jp

外国人観光客の受入環境整備（ストレスフリー） に関するワーキンググループ

【目的】

外国人観光客がストレスなく買い物や飲食ができる「ストレスフリー」の環境整備について検討し、外国人観光客の消費拡大を図る。

【内容】

- ① 課題や問題点の抽出（訪日外国人旅行者の受入環境水準調査等の分析）
- ② 外国語での現場対応、モバイル決済やチャットボットなど外国人観光客の受入環境整備についての他都市の事例等を共有
- ③ 課題や問題点の解決策の検討
- ④ 受入環境整備の促進

【構成メンバー（案）】

長崎国際観光コンベンション協会会員、長崎商工会議所会員、長崎商工会議所、長崎市商工振興課、長崎市観光推進課、他外国人観光客の受入環境整備に関心のある企業・団体

【アドバイザー】

富吉 光則 氏（株式会社ブリックス）

外国語による情報発信、外国語での現場対応、外国語によるウェブ戦略、問い合わせ対応チャットボット等、費用対効果の高い対応方法や導入運営について実例を交え、多言語対応におけるソリューションを提供されている。また、おもてなし人材の不足を補うには、人材教育が不可欠であるとのお考えから、教育機関（短大）での講師活動により、ホスピタリティのノウハウを教示されている。

【申込期限】 11月22日（木）

スマホやPCからもお申し込みできます。
<https://goo.gl/forms/lgyp9rU4X2Sk6DY43>

一般社団法人

長崎国際観光コンベンション協会
マーケティング企画戦略部 的野行

ファックス：824-9128

E-mail：nitca_matono@silver.ocn.ne.jp



外国人観光客の受入環境整備（ストレスフリー） に関するワーキンググループ参画申込書

会社名・団体名	
役職	
お名前	
メールアドレス	
電話番号	
携帯電話番号	
ファックス番号	

第1回外国人観光客の受入環境整備（ストレスフリー）
に関するワーキンググループ（11月28日開催）に

出席する ・ 欠席する

その他、ご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。